

令和4年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第4回）議事要旨

日 時 令和4年7月25日（月）13:00～16:00

場 所 新見市役所本庁舎3階 第4委員会室

出席者

評価委員会 岡崎委員長、中西委員、加藤委員

事務局 岩井課長、宮本参事、羽場主任

■要旨

前回までの評価委員会で各委員から聴取した意見を取りまとめた公立大学法人新見公立大学令和3年度業務の実績に関する評価結果（案）について内容の確認を行った。

今回の評価委員会で取りまとめが完了したため、評価結果を市長に報告することとなった。

■詳細

[評価結果]

（1）総合的な評定

4段落目2行目のICT教育に関する文章を一部修正。

（2）中期計画の項目ごとの評定

Ⅱ 社会貢献に関する目標

イ 理由

「学生有志を核として教職員や地域社会と共に活動できた。また、多くの学生が地域で開催されている事業にボランティアとして参加している。」に修正。

Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標

ア 評定

「計画どおり進んでいる」とする。

イ 理由

「施設を活用し、市民の生活の向上、文化活動の振興、保健医療及び福祉の増進などを積極的に実施しており、また地域共生社会の構築に寄与している。」とする。

ウ 評価した項目

② 特筆すべき項目

「地域共生推進センターのSAが大幅に増加し、学生参画機会の創出ができた。」とする。

Ⅳ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

イ 評定

「経験や資格に～図られている。」を「長期的な計画を～進めている。」に修正。

Ⅴ 財務内容の改善に関する目標

イ 理由

「自主財源」を「自己収入」に修正。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

ウ 評価した項目

②特筆すべき事項

「教員活動の省察を行うシステムを継続的に活用して欲しい。」を追記。

VII その他業務運営に関する重要事項

ウ 評価した項目

②特筆すべき事項

「全学生を対象とした防災訓練の実施を求める。」を追記。

[項目別評価]

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

総評価を「3」とする。

1 教育

1) 教育の内容

12ページ目 ⑤情報活用能力育成プログラムの評価に「前年の指摘事項への対応ができており評価できる。」を追加。

16ページ目 「外部人材が」を「外部人材は」に修正。

2 研究

2) 研究の実施体制

評定を「4」とする。

22ページ目 「学会等により参加されるように」を「学会等により多く参加されるように」に修正。

22ページ目 ②学術論文の積極的学外投稿・学術集会等への積極的参加の評価に「執筆、論文、学会での発表を今後も継続して欲しい。」を追加。

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

24ページ目 「受験倍率が 5.8 倍から 2.4 倍へと」を「「受験倍率が 5.4 倍から 2.8 倍へと」に修正。

26ページ目 「Web相談会について」の後に「日時や曜日など、相談者に対し」を追記。

III 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

1) 大学施設の市民開放

評定を「3」とする。

43ページ目 「情報発信を行う～されたい。」という評価結果記載箇所を③交流センターのPRに修正する。

Ⅳ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

45 ページ目 ①法人組織の見直しに「組織環境の改善を行っており評価できる。次年度以降、理事の所掌分野の再編に取り組みられることを望む。」を追加。

Ⅴ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 経費の抑制の評価を「4」とする。

[全体評価]

1. 事業の実施状況について

「学生の動向調査を努力し行い、」を「学生の入試動向調査を行い、」に修正。

■次回開催日について

令和4年7月27日（水）9時30分から、市役所本庁舎市長室で市長に対して評価結果を報告することとした。